令和９年度（2027 年度）

# 一般選抜学生募集要項

・出願は、インターネット出願（インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払の後、出願書類を提出する一連の手続となります。）に限ります。

・出願に当たっては、必ず本要項及び本学入試ホームページに掲載する「インターネット出願ガイド」を確認してください。

・出願書類の提出は、郵送（出願期間の最終日に限り持参も可）により行ってください。

熊本県立大学

# 目　　次


１．入学者選抜の実施に関する事項 …… 1

１－１　入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー） …… 2

１－２　募集人員及び日程 …… 8

１－３　出願資格、選抜方法等 …… 9

１－４　出願手続 …… １１

１－５　受験票の準備 …… １３

１－６　選抜期日等 …… １４

１－７　合格発表・追加合格発表 …… １４

１－８　受験上の注意等 …… １５

２．関連事項 …… １８

２－１　入学手続 …… １９

２－２　授業料（令和９年度予定） …… ２０

２－３　成績の情報提供（開示）について …… ２０

２－４　個人情報の取扱いについて …… ２１

２－５　問合せ先 …… ２１

別紙１　日程・試験時間割・試験室等一覧表 …… ２２

大学入学共通テストの出題教科・科目名等の省略記載について …… ２３

別紙２　実施教科・科目・配点等一覧表 …… ２４

大学施設配置図


**本要項の内容に変更が生じた場合は本学入試ホームページにてお知らせしますので、常に最新の情報をご確認ください。**

**本学入試ホームページ**　https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination/

# １．入学者選抜の実施に関する事項

## １－１　入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

### 全学

#### １　熊本県立大学が求める学生

熊本県立大学は、「地域に生き、世界に伸びる」をスローガンに、豊かな教養を備え、21 世紀の地域社会ひいては国際社会の発展に貢献できる、有為で創造性豊かな人材の育成に全力を注いでいます。

熊本県立大学は、文、環境共生、総合管理、半導体の４学部３研究科からなり、人文科学系、自然科学系、社会科学系、工学系の４つが有機的に結合した先進的な「集約型大学」です。また、「地域実学主義」を教育理念とし、「理論を現場に学ぶ」体験的、実践的学修方法であるフィールドワークや、地域課題解決と教育を結びつけた「もやいすと」育成プログラムなど、現場に学び実践力を育むための教育を展開する特色ある大学です。

この大学に学び、地域に根ざし世界に向かって羽ばたこうとする知的探究心旺盛な学生を求めています。

#### ２　入学者選抜の実施方法

熊本県立大学は、１に掲げる本学が求める学生を適正に選抜するため、学部・学科の特性に応じて、各種の選抜方法を実施します。

### 文学部

#### １　文学部が求める学生

わたしたち人間が作り上げてきた様々な文化を探究し、これから作り上げるべき文化のあり方を考えていく、それが文学部の使命です。古今東西の様々な文献を読むことで、それぞれの時代の人々の考え方を理解し、ことばによるコミュニケーションを通して人や社会との着実な関係を作り上げることに取り組んでいきます。

日本語とはどのような言語なのだろうか、日本語を歴史的にあるいは客観的に学ぶとはどういうことなのだろうか、英語を正しく理解し表現する力を身に付けるにはどうすればよいのだろうか、日本の文学や英語圏の文学を深く理解したい、そして、より広い世界の文学、言語、歴史、思想を学んでみたい、このような問題意識や希望を持つ人に本学部は応えていきます。ことばと人間に関心を持ち、意欲をもって探究のできる人、そんな人を文学部は求めています。

#### ２　入学者選抜の方法

入学者の選抜に際しては、一般選抜及び特別選抜を通じて、知識、思考力、表現力、意欲等、多角的な観点から、１に掲げた本学部での学修において求められる資質や能力について、総合的に測るものとします。

#### 【日本語日本文学科】

#### １　日本語日本文学科が求める学生

日本語日本文学科は、日本文学・日本語学・日本語教育学の三つの領域を中心としながら、日本の言語文化や歴史を深く学び、その成果を豊かな社会の形成に役立てようとする学科です。

日本の古代から近代に至る各時代の言語や文学作品を分析する研究だけでなく、地域の歴史・文化をフィール

ドワークによって再考したり、日本語を外国人に教えるための具体的な技術を学んだり、諸外国との比較を通して日本の歴史・文化を見つめ直す研究なども行われます。

このような観点から、本学科では、次のような知識・意欲のある人を求めます。

(1) ことばや文学作品が持っている、人間を動かす力のみなもとを探求しようとする人（「現代文」「古典」を履修していることが望ましい）
(2) 日本語や日本文学が、時代とともにどのように移りかわってきたかを学ぼうとする人（「日本史」を履修していることが望ましい。また、日本文学史について一定の知識を持っていることが望ましい）
(3) 日本語や日本文学についての知識や技術を、社会・地域の中で積極的に活かしていこうと志す人（現代社会の動向・要請について常に関心を持っていて欲しい）
(4) 特に、中学校・高等学校の国語教員、もしくは外国人に日本語を教える日本語教師をめざす人

**２　入学者選抜の方法**

入学者の選抜に際しては、一般選抜及び特別選抜を通じて、知識、思考力、表現力、意欲等、多角的な観点から、基礎的な能力と、１に掲げた本学科への適性について、総合的に測るものとします。

**【グローバル・スタディーズ学科】**

**１　グローバル・スタディーズ学科が求める学生**

グローバル・スタディーズ学科は、英語による高度なコミュニケーション能力と Global Competence を有し、国際社会の理解に必要な知識や英語圏の文化的背景知識を修得し、国際感覚を持って社会で活躍できる人材や中学校・高等学校の英語教員などの専門的職業人を育成します。

このような観点から、本学科では次のような意欲のある人を求めます。

(1) 英語による高度なコミュニケーション能力と国際感覚を身につけて社会で活躍したい人
(2) 世界に広く目を向け、国際社会の理解に必要な知識を深め、国際的に交流活動していきたい人
(3) 英語による言語、文化、社会の探究に関心のある人
(4) 言語教育に関心を持ち、英語教育などに従事したいと考えている人

入学を希望する人は、英語だけではなく、広く全般的な知識を身につけ、世界の歴史や地理に関して十分な学力を有していることが望まれます。

**２　入学者選抜の方法**

入学者の選抜に際しては、一般選抜及び特別選抜を通じて、知識、思考力、表現力、意欲等、多角的な観点から、１に掲げた本学科への適性について、総合的に測るものとします。

## 環境共生学部

### １　環境共生学部が求める学生

環境共生学部は、私たちと自然が共生していく際の諸問題を総合的に捉え、その方策を追求し、地域の発展と人間福祉の向上を目指すことを理念として設置され、環境共生学科のもと、環境資源学専攻、居住環境学専攻、食健康環境学専攻の３専攻で教育研究を行っています。本学部は以下のような能力を持つ学生を求めています。

(1)　環境共生学にかかわる様々な課題に関心を持つ学生
(2)　科学的、論理的思考能力を有している学生
(3)　高等学校における教科に関してバランスのとれた基礎学力を有している学生
(4)　理科の科目について十分な学力を有している学生
(5)　英語について幅広い素養を備えている学生

さらに、入学後は、国際的な視野と自然科学・健康科学に係る高度な知識をもとに、人間活動と自然環境との共生にかかわる地域あるいは地球規模の諸問題を総合的に対処できる能力を自ら積極的に学修することによって身につけようと考えている学生を求めます。

### ２　入学者選抜の実施方法

一般選抜、自己推薦型選抜（居住環境学専攻に限る）、特別選抜を実施し、知識、思考力、表現力、意欲等、多角的な観点から、１に掲げた本学部での学修において求められる資質や能力について、総合的に評価します。

## 【環境共生学科　　環境資源学専攻】

### １　環境資源学専攻が求める学生

環境資源学専攻は、地域の生態系メカニズムの解明や、人間活動が生態系に及ぼす影響の解析を通した自然環境と人間活動との共生のための基礎的理論について教育・研究を行っています。

そのために、環境共生にかかわる諸問題を科学的に解明し対処するための基礎的な自然科学の知識と理解力を養成し、併せて、生態系の仕組みや、人間活動が環境・資源に及ぼす影響を調査、解析、評価する能力を養成します。また、各実験・実習・演習科目において得られた結果の処理、分析、レポート作成、結果発表（プレゼンテーション）に関する能力を養成します。

そこで、環境資源学専攻は以下のような学生を求めています。

(1)　自然環境や生態系の保全について学ぶ意欲を持つ学生
(2)　さまざまな環境問題に興味がある学生
(3)　環境にかかわる専門家をめざす学生

本専攻への入学を希望する人は、高等学校における教科を滞りなく履修した上で学修の基礎科目となる理科（生物、物理、化学のうち、少なくとも一科目）と数学については高等学校教育の内容を十分に理解しておくこ

とが重要です。

また、本専攻では英語に触れる機会も多く、将来の活躍のためにも重要であり、英語について幅広い素養を備えていることを望みます。

### ２　入学者選抜の実施方法

一般選抜、特別選抜を実施し、知識、思考力、表現力、意欲等、多角的な観点から、１に掲げた環境資源学専攻での学修において求められる資質や能力について、総合的に評価します。

## 【環境共生学科　居住環境学専攻】

### １　居住環境学専攻が求める学生

居住環境学専攻は、「環境共生」の理念を前提とした環境への負荷軽減、人間の健康・福祉などの視点を重視する居住環境とそのシステムのあり方について、実践的に取り組む教育・研究を行っています。

そのために、住居から建築・都市・地域に至る住環境の全体を見据え、実体験に基づいた科学的認識能力を養成します。また、居住環境の創造に役立つようなデザイン、計画、調整、構築に関する能力に加えて、関連する社会科学的知識を養成します。

そこで、居住環境学専攻は以下のような人材を求めています。

(1)　自然を利用し、人と地球にやさしい環境をつくる技術を開発したい学生
(2)　にぎわいに満ちた元気な“まち”、自然豊かで美しい“むら”をつくりたい学生
(3)　快適な住まいや公共の建築物などの設計をめざしたい学生
(4)　地震に強く美しい木造建築物・環境に配慮した建築物をつくりたい学生
(5)　建築士として働きたい学生

本専攻への入学を希望する人は、高等学校における教科を全般的に履修した上で、学修の基礎科目となる数学と理科（できれば物理を含む二科目）については、高等学校教育の内容を十分に理解しておくことが重要です。

また、居住環境に対する興味を深め、社会性を養うために、読書や新聞を読む習慣を身につけておくことを望みます。

### ２　入学者選抜の実施方法

一般選抜、自己推薦型選抜、特別選抜を実施し、知識、思考力、表現力、意欲等、多角的な観点から、１に掲げた居住環境学専攻での学修において求められる資質や能力について、総合的に評価します。また、自己推薦型選抜や特別選抜では、将来建築関連の職業に就く場合に必要な能力と、豊かな可能性について、筆記試験では測れない他者とのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力等も合わせて評価します。

【環境共生学科　食健康環境学専攻】

１　食健康環境学専攻が求める学生

食健康環境学専攻は人と社会と自然との共生の視点から、自然環境にやさしく、地域の特性を反映した「食と健康」について教育・研究を行っており、食・健康・環境に関連する幅広い知識を身につけ、国際的に通用する専門性およびスキルを習得し、様々な課題に積極的に取り組む人材を養成します。

そのために、食健康環境学専攻では以下のような学生を求めています。

(1)　食・健康・環境等の分野に強い関心を有し、将来これらの分野で活躍を目指す意欲的な学生
(2)　社会で活躍する土台となるコミュニケーション能力を持ち、自己のコミュニケーション能力の向上に熱心な学生
(3)　様々な課題のよりよい解決に向け、自ら問題を発見しようとする探求心とその解決を図るための豊かな想像力を有する学生
(4)　高等学校卒業レベルの十分な基礎学力を持つとともに、理科科目（化学および生物）に対して興味や関心を持つ学生
(5)　最新の科学的知見を得る上で重要となる英語について幅広い素養を備えている学生

２　入学者選抜の実施方法

一般選抜、特別選抜を実施し、知識、思考力、表現力、意欲等、多角的な観点から、１に掲げた食健康環境学専攻での学修において求められる資質や能力について、総合的に評価します。

## 総合管理学部

【総合管理学科】

総合管理学部は、社会的諸課題を正しく捉え、それを実践的に解決していくことを学ぶ社会科学系の学部です。社会的諸課題を解決していく実践的な人材養成に向けて、学部の入学者受け入れ方針を次のように定めます。

１　学部が求める学生

(1)　社会の諸課題に興味を持ち、それを解決していこうとする意欲と態度を備えている人
(2)　課題解決のために、他者と協調的に活動していける人
(3)　課題を正しく把握するために、多様な視点で柔軟に考えていける人
(4)　多様な知識とスキルから成る総合管理を学ぶために、高校までの幅広い基礎学力を持っている人

２　入学者選抜の実施方法

１に掲げる学部が求める学生を適正に選抜するため、「一般選抜」、「自己推薦型選抜」、「特別選抜」において多角的な評価視点を取り入れた選抜方法を実施します。

## 半導体学部

### 【半導体学科】

#### １　半導体学部が求める学生

半導体学部は、半導体に関連する知識と技術を広く学び、実際の社会で役立てていくことを理念としています。半導体の基礎から応用にわたる分野に加え、半導体に関わるビジネス、環境、法制度などの横断的な分野を学び、半導体産業や社会に貢献できる人材を養成します。

そこで、本学部では以下のような学生を求めています。

⑴　半導体と情報社会に興味を持ち、半導体関連産業に従事する意欲のある人

⑵　半導体に関する専門知識と技術を学ぶため、数学、物理、化学、情報の基礎的な学力を持つ人

⑶　多様な人材とコミュニケーションを取り、共同作業に積極的に取り組む意欲のある人

#### ２　入学者選抜の実施方法

学部が求める学生を適正に選抜するため、「一般選抜」「特別選抜」において多角的な評価視点を取り入れた選抜方法を実施します。

## １－２　募集人員及び日程

### 募集人員

| 学部 | 学科・専攻 | | 前期日程 | 後期日程 |
|---|---|---|---|---|
| 文学部 | 日本語日本文学科 | | 30 名 | 10 名 |
| | グローバル・スタディーズ学科 | | 28 名 | 10 名 |
| 環境共生学部 | 環境共生学科 | 環境資源学専攻 | 15 名 | 12 名 |
| | | 居住環境学専攻 | 20 名 | 12 名 |
| | | 食健康環境学専攻 | 28 名 | 8 名 |
| 総合管理学部 | 総合管理学科 | | A 方式　30 名 | A 方式　20 名 |
| | | | B 方式　40 名 | B 方式　30 名 |
| 半導体学部 | 半導体学科 | | 30 名 | 20 名 |

### 日程

| 区分 | | 出願期間 | | 選抜期日 | 合格発表日 | 入学手続期間 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | インターネットによる出願登録及び入学検定料支払期間 | 出願書類提出期間 | | | |
| 一般選抜(教科・科目に係る個別テスト及び小論文) | 前期日程 | 令和 9 年<br>1 月 25 日(月)<br>**9 時**<br>～<br>令和 9 年<br>2 月 3 日(水)<br>16 時 59 分 | 令和 9 年<br>1 月 25 日(月)<br>**9 時**<br>～<br>令和 9 年<br>2 月 3 日(水)<br>17 時 | 令和 9 年<br>2 月 25 日(木) | 令和 9 年<br>3 月 5 日(金) | 令和 9 年<br>3 月 6 日(土)<br>～<br>令和 9 年<br>3 月 15 日(月) |
| | 後期日程 | | | 令和 9 年<br>3 月 12 日(金) | 令和 9 年<br>3 月 20 日(土) | 令和 9 年<br>3 月 20 日(土)<br>～<br>令和 9 年<br>3 月 27 日(土) |

## １－３　出願資格、選抜方法等

| | |
|---|---|
| 出　願　資　格 | 次の（1）から（4）までのいずれかに該当し、令和 9 年度大学入学共通テストの中から指定された教科・科目（以下の「選抜方法」を参照）を受験した者<br>（1）　高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者<br>（2）　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者<br>（3）　学校教育法施行規則第 150 条第 1 号から第 5 号までのいずれかに該当し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 9 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者<br>（4）　本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに達する者 |
| 選　抜　方　法 | 入学者の選抜は、大学入試センターが行う大学入学共通テスト、本学が行う教科・科目に係る個別テスト及び小論文（以下、「本学個別テスト」という。）と調査書を総合して行います。<br>ただし、志願する学部・学科・専攻が指定する教科・科目等を全て受験しなければ、合否判定の対象者とはなりません。大学入学共通テストを受験していても、本学個別テストを欠席した者は、失格とします。<br><br>※２段階選考の実施について<br>次の学科では、以下の①、②の手順にて２段階で合格者を選考します。<br>（２段階選抜とは異なります。本学では、２段階選抜は実施しません。）<br>〔文学部日本語日本文学科・総合管理学部総合管理学科〕<br>①　大学入学共通テスト得点と本学個別テスト得点（調査書得点を含まない。）を合計した成績が上位の受験者において、調査書得点により合格の可能性が生じる者までを第１段階の選考合格者とします。<br>②　第１段階の選考合格者のうち、調査書得点の点数によらず大学入学共通テストと本学個別テスト得点（調査書得点を含まない。）の合計得点のみで最終合格が確実となる者は、第２段階の選考を免除し、そのまま最終合格者とします。これに該当しない第１段階の選考合格者を対象に、第２段階の選考として調査書得点を加えた総合点による合否判定を行います。<br>（注）<br>・合否結果の通知は最終結果のみとし、第１段階・第２段階の選考別には行いません。<br>・文学部グローバル・スタディーズ学科・環境共生学部全専攻・半導体学部半導体学科については、２段階選考は実施せず、本学個別テスト受験者全員の調査書評価を行い、合否判定を行います。 |

<table>
<tr><td colspan="2">本学個別テストの実施教科・科目・配点・試験時間等</td><td>（1）別紙１「日程・試験時間割・試験室等一覧表」（P.22）及び別紙２「実施教科・科目・配点等一覧表」（P.24～27）のとおりです。<br>（2）別紙２「実施教科・科目・配点等一覧表」の留意事項は非常に重要ですので、必ず熟読し十分に理解した上で出願してください。<br>（3）　総合管理学科（前期日程、後期日程）に出願する者は、出願時にＡ方式、Ｂ方式のいずれかを選択してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">採点・評価基準</td><td>（1）　小論文<br>①　文学部（日本語日本文学科（後期日程））<br>出題された課題文に対しての読解力を問うと同時に、文章表現力、論理的思考力などの文章記述能力をみます。<br>②　環境共生学部（環境共生学科居住環境学専攻（後期日程）、環境共生学科食健康環境学専攻（後期日程））<br>考察力、論理的思考力、表現力、記述力をみます。<br>③　総合管理学部（総合管理学科（前期日程、後期日程））<br>出題された資料（英文を含む。）に対しての理解力、考察力や論理的思考力、表現力、記述力をみます。<br>なお、問題によっては、グラフ・図表等を示し、その解釈力をみます。<br>④　半導体学部（半導体学科（後期日程））<br>出題された資料を的確に読み取り、理系的な視点から分析し、根拠に基づいて論理的に考察・表現する能力をみます。<br>（2）　調査書<br>調査書を配点の対象とし、その割合は各学科・専攻の大学入学共通テスト得点と本学個別テスト得点（調査書得点を含まない。）の合計点の１％程度とします。<br>調査書は、高等学校在学中の活動や実績等について、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」を中心に総合的に評価します。<br>※令和８年４月以降に発行されたものに限ります。調査書を提出できない場合は、活動実績報告書（様式は、１－４出願手続（２）出願に必要な書類等を参照）を提出してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出願期間</td><td>インターネットによる出願登録及び入学検定料支払期間</td><td>令和９年１月 25 日（月）<u>９時</u>から ２月３日（水）16 時 59 分まで<br>※インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払だけでは出願は完了しません。各選抜いずれも出願書類提出期間中に出願書類の提出（必着）が併せて必要となりますので、出願登録及び入学検定料の支払は余裕をもって行ってください。</td></tr>
<tr><td>出願書類提出期間</td><td>令和９年１月 25 日（月）<u>９時</u>から ２月３日（水）17 時まで（必着）</td></tr>
<tr><td colspan="2">合格発表日</td><td>前期日程：令和９年３月５日（金）、後期日程：令和９年３月 20 日（土）</td></tr>
</table>

## １－４　出願手続

### （１）　出願方法

本学入試ホームページ（https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination/）にアクセスし、インターネット出願（インターネットによる出願登録及び入学検定料の支払の後、出願書類を提出する一連の手続となります。）により出願してください。出願に当たっては、当該ホームページに掲載する「**インターネット出願ガイド（学部）**」により、出願方法に関する詳細を確認の上、行ってください。

**令和９年２月３日（水）17 時までに本学教務入試課入試班に到達していない出願書類は受理しませんので、余裕をもって提出してください。また、不備がある場合も受理しません。**

① 出願書類を郵送する場合は、**『簡易書留・速達』**郵便で、令和９年２月３日（水）17 時までに**必着**するように発送してください。

郵便事情により出願期間終了後に配達されたものは、次の（ア）から（ウ）までの条件の全てを満たす場合に限り受理します。

【出願期限終了後に配達された出願書類を受理する条件】

（ア）　**『簡易書留・速達』**郵便で発送されていること。

（イ）　令和９年２月１日（月）までの消印があること。

（ウ）　出願書類に不備がないこと。

② 郵送では出願期間内に書類が到着しない恐れがある場合、出願期間の最終日に限り、持参を認めます。

なお、持参する場合の受付時間は、９時から 17 時まで（12 時 20 分から 13 時 20 分までの間を除く。）とします。

### （２）　出願に必要な書類等

| 出願書類等 | | 摘要 |
|---|---|---|
| 出願に必要な書類等 | 入学検定料（入学者選抜手数料） | １７，０００円（別途、支払手数料が必要です。）<br>支払方法は、本学入試ホームページに掲載する「**インターネット出願ガイド（学部）**」をご確認ください。 |
| | 入学志願票（入学願書） | 入学検定料支払後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。ページの拡大・縮小はせずにＡ４サイズ・横様式・カラーで印刷したものを提出してください。（顔写真は、本学入試ホームページに掲載する「**インターネット出願ガイド（学部）**」に記載の見本のとおりに撮ってください。）<br>※　大学入学共通テストの成績請求情報（注）の提供手続は、本学においては「Web 方式」を指定します。本学の出願登録をインターネット出願サイトから行う際に、画面の指示に従って大学入学共通テストの「申込番号」等の情報を入力し、成績請求情報を取得してください。<br>（注）成績請求情報とは、大学側が大学入試センターに志願者の大学入学共通テストの成績を請求するための情報です。<br>※　本様式（右側）の「登録内容チェックシート」で必ず内容を確認してください。 |

<table>
<tr><td rowspan="3">出願に必要な書類等</td><td rowspan="3">調査書等<br>（成績を証する書類）</td><td>文部科学省が定める様式により出身学校長が発行し、厳封したもの。<br>※　令和８年４月以降に発行されたものに限ります。<br>※　調査書を提出できない場合は、本学入試ホームページから「活動実績報告書」の様式をダウンロードし、拡大・縮小はせずにＡ４サイズで印刷の上、様式に記載している注意事項に従って作成してください。<br>【本学入試ホームページ（様式掲載ページ）アドレス】<br>https://www.pu-kumamoto.ac.jp/examination/general/</td></tr>
<tr><td>高等学校卒業程度認定試験（旧：大学入学資格検定）合格者は、調査書に代えて、「合格成績証明書」、「合格証書の写し又は合格証明書」及び「活動実績報告書」を提出してください。<br>※　「活動実績報告書」は、上記の本学入試ホームページから様式をダウンロードし、拡大・縮小はせずにＡ４サイズで印刷の上、様式に記載している注意事項に従って作成してください。</td></tr>
<tr><td>学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修め、そのうち海外において在住国の正規の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて 2 年以上継続して在学し、卒業（修了）した者又は令和 9 年 3 月 31 日までに卒業（修了）見込みの者は、調査書に代えて「最終出身学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書」、「成績証明書」及び「活動実績報告書」を提出してください（外国の学校の証明書には和訳文を添付してください。）。<br>※　「活動実績報告書」は、上記の本学入試ホームページから様式をダウンロードし、拡大・縮小はせずにＡ４サイズで印刷の上、様式に記載している注意事項に従って作成してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">その他</td><td>出願用封筒<br>（角形２号封筒）</td><td>市販の角形２号封筒（Ａ４サイズの書類が入る封筒）を用意してください。<br>インターネット出願サイトからダウンロードする、下記「封筒貼付用宛名シート」及び「封筒貼付用出願書類チェックシート」を貼り付け、出願書類提出の際に出願書類を封入する封筒として使用してください。</td></tr>
<tr><td>封筒貼付用宛名シート</td><td>入学検定料支払後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。ページの拡大・縮小はせずに印刷してください。<br>印刷後は、このシートを上記「出願用封筒」の表（おもて）面に貼り付けてください。</td></tr>
<tr><td>封筒貼付用出願書類<br>チェックシート</td><td>入学検定料支払後に、インターネット出願サイトからダウンロードできます。上記「封筒貼付用宛名シート」をダウンロードする際に、併せてダウンロードすることができます。ページの拡大・縮小はせずに印刷してください。<br>記載されている確認項目により出願書類に不足・不備がないことを確認した上で、チェック欄に「〇」を記入し、上記「出願用封筒」の裏面に貼り付けてください。</td></tr>
</table>

（３） 注意事項

① 出願書類等に不備がある場合は受理しませんので、「記入漏れ」、「誤記」等には十分に注意してください。

② 受験者は、出願手続を完了した後に、現住所、電話番号等に変更が生じたときは、直ちに本学教務入試課入試班に連絡してください。

③ いったん受理した出願書類は、理由のいかんを問わず一切返却しません。

④ 既納の入学検定料は、次の(ア)から(エ)までの場合を除き、理由のいかんを問わず一切返還しません。

（ア） 出願書類等を提出しなかった場合

（イ） 出願書類が受理されなかった場合

（ウ） 二重に支払った場合

（エ） 出願書類が受理された後に、大学入学共通テスト受験科目の不足等により出願資格が無い者であることが判明した場合

※ (ア)から(エ)までのいずれかの場合に該当し、返還を希望する者は、本学教務入試課入試班（TEL 096-321-6610）に連絡の上、指示のあった書類を提出してください。

なお、返還額は、以下に記載の額から本学による振込時の手数料を差し引いた額とします。

【返還額（手数料差引前）】

（ア）（イ）（ウ）の場合、全額（17,000 円）

（エ） の場合、一部（13,000 円）

⑤ 本学の「前期日程」に出願する者は、本学の他の学部・学科・専攻及び他の国公立大学の学部の「前期日程」との併願はできません。また、本学の「後期日程」に出願する者は、本学の他の学部・学科・専攻及び他の国公立大学の学部の「後期日程」との併願はできません。

なお、本学の「前期日程」と「後期日程」との併願は、学部・学科・専攻が異なっても可能です。

⑥ 国公立大学（本学を含む。）に総合型選抜又は学校推薦型選抜で合格している者は、本学の「前期日程」、「後期日程」試験を受験しても合格者とはなりません（特別の事情があり、当該総合型選抜又は学校推薦型選抜を実施する大学の定める入学辞退手続方法により入学辞退の許可を得た者を除く。）。

⑦ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。

⑧ 障がい等により受験及び修学に際して合理的配慮を希望する者は、事前に本学教務入試課入試班（TEL 096-321-6610）に相談の上、指示のあった書類を令和９年１月 25 日（月）までに提出してください。

⑨ 大学入学共通テストの成績請求情報（注）の提供手続は、本学においては「Web 方式」を指定します。本学の出願登録をインターネット出願サイトから行う際に、画面の指示に従って大学入学共通テストの「申込番号」等の情報を入力し、共通テスト成績請求情報を取得してください。

（注）成績請求情報とは、大学側が大学入試センターに志願者の大学入学共通テストの成績を請求するための情報です。

## １－５ 受験票の準備

「本学の受験票」と「大学入学共通テストの受験票」の両方が必要です。

「本学の受験票」は、試験日の 10 日程度前に、インターネット出願サイトからダウンロードできるようになり

ます。受験者自身で受験票をダウンロードし、印刷（Ａ４サイズ・カラーで印刷し、ページの拡大・縮小はしないこと。）の上、大切に保管し、試験当日に必ず持参してください。

なお、試験日の3日前となってもインターネット出願サイト上で「本学の受験票」がダウンロードできない場合は、本学教務入試課入試班（TEL 096-321-6610）まで問い合わせてください。

また、「大学入学共通テストの受験票」がダウンロードできない場合や不備がある場合は、大学入試センター事業第1課（TEL 03-3465-8600）まで問い合わせてください。

## １－６ 選抜期日等

### （１） 実施教科・科目・配点、日程・試験時間割・試験室等

入学者の選抜は、大学入試センターが行う大学入学共通テスト、本学が行う本学個別テスト及び調査書を総合して行います。

ただし、志願する学部・学科・専攻が指定する教科・科目等を全て受験しなければ、合否判定の対象者とはなりません。大学入学共通テストを受験していても、本学個別テストを欠席した者は、失格とします。

本選抜の本学個別テストの日程・試験時間割・試験室等については、別紙１「日程・試験時間割・試験室等一覧表」（P.22）のとおりです。

本選抜で学部・学科・専攻が指定する実施教科・科目・配点等については、別紙２「実施教科・科目・配点・試験時間等一覧表」（P.24～27）のとおりです。

### （２） 試験会場の下見について

試験室は、試験当日に本学の試験会場にて掲示します。

なお、試験会場の下見は、次の日時にのみ可能とします。ただし、試験室には入れません。

【前期日程】令和9年2月24日（水）13時30分 から 15時30分 まで

【後期日程】令和9年3月11日（木）13時30分 から 15時30分 まで

## １－７ 合格発表・追加合格発表

### （１） 合格発表

#### ① 日 時

【前期日程】 令和9年3月5日（金）13時30分

【後期日程】 令和9年3月20日（土）13時30分

#### ② 方 法

本学本部棟前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

なお、電話、メール等による問い合わせには応じません。

また、合格者の受験番号については、本学本部棟前に掲示した後、参考までに本学ホームページに掲載します。

| | |
|---|---|
| 本学ホームページアドレス | https://www.pu-kumamoto.ac.jp/ |

◎入学手続等については、「**２－１ 入学手続**」に記載しています。

**（２） 追加合格発表**

① 入学辞退者があって、令和９年３月 27 日（土）時点で欠員が生じた場合は、令和９年３月 28 日（日）、３月 29 日（月）に追加合格者の決定を行います。

② この追加合格者の決定は、追加合格候補者に該当する受験者のうち、入学志願票に記入された連絡先に電話連絡の上、入学する意思を確認できた者について行いますので、受験者は令和９年３月 28 日（日）の８時以降に必ず連絡がとれるようにしておいてください。

受験者本人が不在等のため連絡・確認ができなかった場合は、入学の意思がないものとして取り扱うことがあります。

③ 追加合格者の入学手続については、追加合格が決定した時点で指示します。

④ 他の国公立大学に入学手続を済ませた者は、本学の追加合格者とはなりません。

⑤ 本学は、欠員補充第２次募集は実施しません。

## １－８ 受験上の注意等

（１） 受験者は、本選抜で志願する学部・学科・専攻が指定する教科・科目等を全て受験しなければなりません。それらの教科・科目等を１つでも受験しなかった受験者は、失格とし、合否判定の対象外となります。

（２） 集合時間までに指定の席につき、「本学の受験票」と「大学入学共通テストの受験票」の両方を机の右上に置いて試験監督者に見えるようにしておいてください。

（３） 受験票は必ず携帯してください（「本学の受験票」と「大学入学共通テストの受験票」の両方が必要です。）。また、所持品は携帯し、試験監督者の指示する場所に置いてください。

（４） 試験当日、受験票を忘れた場合は、速やかに試験実施本部へ申し出てください。

（５） 本学個別テストの試験中、机の上に置くことができるものは、受験票、黒鉛筆（H、F、HB に限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。）、鉛筆キャップ、シャープペンシル（黒い芯に限る。）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）、時計（辞書、電卓、検索等の機能があるものや、それらの機能の有無の判別がしづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・学習タイマー・大型のものは不可。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から取り出したもの。）とします。

（６） 携帯電話・スマートフォンは、試験室に入る前に電源を切ってから、かばんに入れておいてください。また、これらを時計として使用することはできません。

（７） アラームや時報機能のついた時計は、試験室に入る前に必ずアラームや時報の設定を解除してください。

（８） 本学個別テストの試験開始後 20 分を経過すると入室を認めません。

（９） 試験時間中は、原則として退室を認めません。

(10) 次の行為を行った者は、不正行為を行ったものとみなし、失格とします。失格となった場合、本選抜のそ

れ以後の受験はできなくなります。また、不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。

① 出願書類や解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること（出願時に本人以外の写真を登録することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入する等。）。

② カンニングをすること（試験の教科・科目に関係するメモやコピー等を机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の受験者その他の本人以外の者から答えを教わること等。）。

③ 他の受験者その他の本人以外の者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。

④ 試験問題や、試験問題の解き方、解答を、その試験時間が終了する前に外部に流出させること。

⑤ 配布された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

⑥ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

⑦ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。

⑧ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。

⑨ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ＩＣレコーダー等の電子機器類（これらに接続するイヤホンを含む。）を使用すること。

⑩ 解答終了の指示に従わず、解答を続けること。また、解答終了の指示後に許可なく鉛筆や消しゴムを持っていたりすること。

(11) 次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合は、失格とします。失格となった場合、本選抜のそれ以後の受験はできなくなります。

① 試験時間中に、次のものをかばん等にしまわず、机の上に置いたり、身に付けていたり手に持っていたりすること。

・教科書、参考書、辞書等の書籍類
・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ＩＣレコーダー等の電子機器類（これらに接続するイヤホンを含む。）
・その他、使用を許可されていないもの

② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音等。）を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること。

③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。

⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(12) 上履きは不要です。

(13) 昼食は各自持参してください。

(14) 引率者（保護者、高校の教職員）は、控室としてＣＰＤホールを利用できます。

(15)　自家用車による送迎で来学する場合は、大学構内一方通行を遵守し、案内表示にしたがって走行してください。車両の混雑を避けるため、送迎後は速やかに大学構内から退出いただくようお願いします。

なお、学内に駐車される場合は南駐車場をご利用いただけますが、南駐車場が満車の場合は駐車できません（背表紙裏面の大学施設配置図を参照のこと。）。

# ２．関連事項

## ２－１　入学手続

入学手続として、インターネットによる入学手続情報登録及び入学金の支払の後、入学手続書類の提出（郵送又は持参）が必要です。また、入学手続の詳細は、合格通知書とともにお知らせします。

### （１）　手続期間

【前期日程】令和９年３月６日（土）９時00分から３月15日（月）17時00分 まで（**必着**）

【後期日程】令和９年３月20日（土）以降の合格通知書到着後から３月27日（土）17時00分まで（**必着**）

### （２）　提出書類

不備のないよう確認の上、次の書類を提出してください。

① 宣誓書

本学所定の様式（インターネットで入学手続情報登録後に、様式をダウンロードできます。）

② 保証書

本学所定の様式（インターネットで入学手続情報登録後に、様式をダウンロードできます。）

③ 住民票（県内生のみ）

県内生については、入学者が生計を一にする世帯の主たる生計維持者及びその世帯全員の住民票が必要です（県外生は不要）。

（注）県内生とは、入学者が生計を一にする世帯の主たる維持者が、前期日程の場合は令和９年３月15日の６ヶ月前（令和８年９月15日）、後期日程の場合は令和９年３月27日の６ヶ月前（令和８年９月27日）から引き続き熊本県内に住所を有する場合をいいます。

④ 国公立大学入学確認票

大学入試センターの大学入学共通テスト出願サイトのマイページにおいて必要な操作を行い、「国公立大学入学確認票」を発行し、印刷してください。

（注）国公立大学入学確認票の発行を行うことができるのは、１大学のみです。大学入学共通テスト出願サイトの「志願者向け操作マニュアル」等で発行方法をしっかりと確認し、誤発行がないようにしてください。

| | |
|---|---|
| 大学入学共通テスト出願サイトアドレス | https://examinee.dnc.ac.jp/examinee |

### （３）　書類の提出方法

郵送又は持参によること。

① 郵送・持参を問わず、**手続期間の最終日 17 時までに到達していない入学手続書類は受理しませんので、余裕をもって提出してください。また、出願書類に不備がある場合も受理しません。**

② 郵送する場合は、**『簡易書留・速達』**郵便で、手続期間中に**必着**するように発送してください。

③ 持参する場合は、次の日時のみ手続を受付けます。

【前期日程】 令和9年3月8日（月）から3月10日（水）、3月13日（土）から3月15日（月）までの9時から17時まで（ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。）

【後期日程】 令和9年3月23日（火）から3月27日（土）までの9時から17時まで（ただし、12時20分から13時20分までの間を除く。）

**（4） 書類の提出先**

〒862 － 8502 熊本市東区月出３丁目１番 100 号
熊本県立大学教務入試課入試班
TEL 096 － 321 － 6610

**（5） 入学金（令和8年度（2026年度）現行）**

次に掲げる金額を、合格通知書とともにお知らせする入学手続の詳細に従って支払ってください。

なお、いったん支払われた入学金は、入学手続をしなかった場合を除き、理由のいかんを問わず返還しません。

| 区分 | 区分の詳細 | 入学金 |
|---|---|---|
| 県 内 生 | ２－１（2）③（注）を参照してください。 | ２０７，０００円 |
| 県 外 生 | 県内生以外の者 | ４１４，０００円 |

**（6） 注意事項**

① 合格者が一つの国公立大学に入学手続をしたときは、それ以後、これを取り消して他の国公立大学に入学手続をすることはできません。

② 国公立大学の「前期日程」試験に合格し、令和9年3月15日（月）までに入学手続を行った場合は、本学の「後期日程」試験に出願済みの者がこれを受験しても合格者とはなりません。

③ 入学許可後であっても、受験中又は出願手続等に不正があった場合は、入学の許可を取り消します。

## ２－２ 授業料（令和9年度予定）

**年額：535,800円**（各期 267,900 円×２期）

（注１）在学中に授業料額及び納付期日等の改定が行われた場合には、改定時から適用されます。

（注２）授業料減免制度については、本学ホームページをご覧ください。

（注３）経済的理由等により、期限までに納付することが困難な場合には、徴収猶予許可又は月額による納付の許可を受ける事ができます。詳しくは、入学後に本学総務課にご相談ください。

## ２－３ 成績の情報提供（開示）について

**（1） 提供する情報**

得 点…大学入学共通テストの総得点、本学個別テストの総得点と調査書得点の合計得点（以下「本学個別

テスト等の総得点」という。）及びそれらの総合得点を開示します。

なお、調査書評価を行った者には本学個別テスト等の総得点に調査書の得点を含むこと、調査書評価を行わなかった者には本学個別テスト等の総得点に調査書の得点を含まないことを明示します。

順　位…不合格者のみの開示で、募集区分ごとに不合格者が 10 名以上の場合に限りランクを開示します。

ランクは、不合格者を成績順に３ランク（上位１／３がA、中位１／３がB、下位１／３がC）に区分して開示します。

合格最低点…募集区分ごとに合格最低点（調査書得点を含む。）を開示します。

ただし、対象は不合格者のみとし、合格者が 10 名以上の場合に限り開示します。

**（２）　情報提供期間及び時間**

令和 9 年 5 月 1 日（土）から令和 9 年 6 月 30 日（水）までの平日 9 時から 17 時まで

（ただし、12 時 20 分から 13 時 20 分までの間を除く。土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。）

**（３）　提供方法及び場所**

入学試験を受験した本人が、本学の教務入試課窓口にて情報提供を希望する旨を申し出てください（代理人への情報提供はできません）。その際、本人確認のため、「本学の受験票」及び「大学入学共通テストの受験票」の両方を持参してください。

なお、「本学の受験票」がダウンロードできない場合は、教務入試課入試班(TEL 096-321-6610)まで問い合わせてください。

また、「大学入学共通テストの受験票」がダウンロードできない場合や不備がある場合は、大学入試センター事業第 1 課（TEL 03-3465-8600）まで問い合わせてください。

## ２－４　個人情報の取扱いについて

出願書類や入学手続に関して、本学が知り得た個人情報及び入学試験の成績や結果に関する個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づき、適正な管理を行っています。

これらの個人情報は、国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、本選抜の合格及び入学手続等に関する氏名等の個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。この他、本学における入学者選抜業務、入学手続、入学後の学籍・学生生活関係業務及び統計資料作成のために利用し、他の目的への利用や本学以外の者への提供は一切行いません。

## ２－５　問合せ先

〒862 － 8502　熊本市東区月出３丁目１番 100 号

熊本県立大学教務入試課入試班

TEL　096 － 321 － 6610

別紙１

# 日程・試験時間割・試験室等一覧表

【前期日程】

選抜期日：令和９年２月25日（木）

| 学部 | 学科・専攻 | | 入室時間 | 試験時間 | 教科等 | 試験室 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 文学部 | 日本語日本文学科 | | 9:30 ～ 9:40 | 10:00 ～ 12:00 | 国語 | 試験当日に本学の試験会場にて掲示します。 |
| | グローバル・スタディーズ学科 | | 9:30 ～ 9:40 | 10:00 ～ 12:00 | 外国語（英語） | |
| 環境共生学部 | 環境共生学科 | 環境資源学専攻 | 9:30 ～ 9:40 | 10:00 ～ 12:00 | 外国語（英語） | |
| | | | 13:00 ～ 13:10 | 13:30 ～ 14:30 | 理科 | |
| | | 居住環境学専攻 | 9:30 ～ 9:40 | 10:00 ～ 12:00 | 外国語（英語） | |
| | | | 13:00 ～ 13:10 | 13:30 ～ 14:30 | 理科 | |
| | | 食健康環境学専攻 | 9:30 ～ 9:40 | 10:00 ～ 12:00 | 外国語（英語） | |
| | | | 13:00 ～ 13:10 | 13:30 ～ 15:30 | 理科 | |
| 総合管理学部 | 総合管理学科Ａ方式 | | 13:00 ～ 13:10 | 13:30 ～ 15:30 | 小論文 | |
| | 総合管理学科Ｂ方式 | | | | | |
| 半導体学部 | 半導体学科 | | 9:30 ～ 9:40 | 10:00 ～ 12:00 | 数学 | |
| | | | 13:00 ～ 13:10 | 13:30 ～ 14:30 | 理科 | |

※ 試験会場の下見は、令和９年２月24日（水）13時30分 から 15時30分 にのみ可能とします。

【後期日程】

選抜期日：令和９年３月12日（金）

| 学部 | 学科・専攻 | | 入室時間 | 試験時間 | 教科等 | 試験室 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 文学部 | 日本語日本文学科 | | 9:30 ～ 9:40 | 10:00 ～ 12:00 | 小論文 | 試験当日に本学の試験会場にて掲示します。 |
| | グローバル・スタディーズ学科 | | 9:30 ～ 9:40 | 10:00 ～ 12:00 | 外国語（英語） | |
| 環境共生学部 | 環境共生学科 | 環境資源学専攻 | 9:30 ～ 9:40 | 10:00 ～ 11:00 | 理科 | |
| | | 居住環境学専攻 | 9:30 ～ 9:40 | 10:00 ～ 12:00 | 小論文 | |
| | | 食健康環境学専攻 | 9:30 ～ 9:40 | 10:00 ～ 12:00 | 小論文 | |
| 総合管理学部 | 総合管理学科Ａ方式 | | 13:00 ～ 13:10 | 13:30 ～ 15:30 | 小論文 | |
| | 総合管理学科Ｂ方式 | | | | | |
| 半導体学部 | 半導体学科 | | 13:00 ～ 13:10 | 13:30 ～ 15:30 | 小論文 | |

※ 試験会場の下見は、令和９年３月11日（木）13時30分 から 15時30分 にのみ可能とします。

## 大学入学共通テストの出題教科・科目名等の省略記載について

次のページ以後において、大学入学共通テストの出題教科・科目名等の記載は次のように略しています。
また、本学が行う教科・科目に係る個別テスト及び小論文を併せて「本学個別テスト」と呼称します。

○地理歴史 → 地歴

『地理総合, 地理探究』→『地総, 地探』、『歴史総合, 日本史探究』→『歴総, 日探』、
『歴史総合, 世界史探究』→『歴総, 世探』、『地理総合/歴史総合/公共』→『地総/歴総/公』

○公民

『公共, 倫理』→『公, 倫』、『公共, 政治・経済』→『公, 政・経』、
『地理総合/歴史総合/公共』→『地総/歴総/公』（再掲）

○数学

『数学Ⅰ, 数学A』→『数Ⅰ, 数A』、『数学Ⅰ』 →『数Ⅰ』、
『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』→『数Ⅱ, 数B, 数C』

○理科

『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』→『物基/化基/生基/地基』、『物理』→『物』、『化学』→『化』、
『生物』→『生』

○外国語

『英語』→『英』、『ドイツ語』→『独』、『フランス語』→『仏』、『中国語』→『中』、『韓国語』→『韓』

文学部

# 実施教科・科目・配点等一覧表

別紙2

| 学科名 | 大学入学共通テスト | | | | | 本学個別テスト等 | | | | 各配点 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 区分 | 教科 | 科目名等 | | 配点 | 区分 | 教科等 | 科目名等 | 配点 | 試験の区分 | 配点 |
| 日本語日本文学科 | 前期日程／後期日程（共通） | 国語 | 『国語』 | 必須 | 200 | 前期日程 | 国語 | 現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、国語表現、古典探究 | 350 | 共通テスト | 650 |
| | | 地歴公民 | 『地総, 地探』『歴総, 日探』『歴総, 世探』『地総／歴総／公』<br>※『地総／歴総／公』は、３つの出題範囲から選択解答する２つのうち１つが「歴史総合」である場合に限る。 | から１ | 100 | | | | | 本学個別テスト等 | 355 |
| | | 数学 | 『数Ⅰ, 数A』『数Ⅰ』 | | | | | | | 総計 | 1005 |
| | | 理科 | 『物基／化基／生基／地基』『物』『化』『生』『地学』 | から１ | 100 | | その他 | 調査書 | 5 | | |
| | | 外国語 | 『英』『独』『仏』『中』『韓』 | から１ | 200 | 後期日程 | 小論文 | 小論文（日本語、日本文学など人文学に関するもの） | 250 | 共通テスト | 650 |
| | | 情報 | 『情報Ⅰ』 | 必須 | 50 | | | | | 本学個別テスト等 | 255 |
| | | | ［５教科５科目］ | | | | その他 | 調査書 | 5 | 総計 | 905 |
| グローバル・スタディーズ学科 | 前期日程／後期日程（共通） | 国語 | 『国語』 | 必須 | 200 | 前期日程 | 外国語 | 英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ（リスニングを含む。） | 300 | 共通テスト | 600 |
| | | 地歴公民 | 『地総, 地探』『歴総, 日探』『歴総, 世探』『地総／歴総／公』『公, 倫』『公, 政・経』 | から１ | 100 | | | | | 本学個別テスト等 | 309 |
| | | 数学 | 『数Ⅰ, 数A』『数Ⅰ』 | | | | | | | 総計 | 909 |
| | | 理科 | 『物基／化基／生基／地基』『物』『化』『生』『地学』 | から１ | 50 | | その他 | 調査書 | 9 | | |
| | | 外国語 | 『英』 | 必須 | 200 | 後期日程 | 外国語 | 英語コミュニケーションⅠ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ（リスニングを含む。） | 300 | 共通テスト | 600 |
| | | 情報 | 『情報Ⅰ』 | 必須 | 50 | | | | | 本学個別テスト等 | 309 |
| | | | ［５教科５科目］ | | | | | | | 総計 | 909 |
| | | | | | | | その他 | 調査書 | 9 | | |

**≪留意事項≫**

| 教科・科目・配点等の取扱い | | 該当する学科・選抜日程 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 日本語日本文学科 | | ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ｽﾀﾃﾞｨｰｽﾞ学科 | |
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 【大学入学共通テストの利用教科・科目について】 | | | | | |
| 地歴公民 | ◆地歴・公民について、複数科目を受験している場合は、第１解答科目の得点を教科の得点とする。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ●ただし、『公共, 倫理』又は『公共, 政治・経済』を第１解答科目とした場合は失格とする。<br>また、『地理総合／歴史総合／公共』を第１解答科目とし、３つの出題範囲から「地理総合」及び「公共」の２つを選択解答した場合も失格とする。 | ○ | ○ | | |
| 理科 | ◆理科について、複数科目を受験している場合は、第１解答科目の得点を教科の得点とする。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 数学理科 | ◆数学及び理科について、２教科とも受験している場合は、高得点の教科の科目を選択科目とする。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 外国語 | ◆外国語において『英語』を選択している場合は、リーディングとリスニングの双方を受験しなければならない。受験していない場合は失格とする（ただし、リスニング免除者を除く）。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 【大学入学共通テストの配点について】 | | | | | |
| 外国語 | ◆大学入学共通テストの外国語において『英語』は、リーディング 100点を160点満点、リスニング100点を40点満点の計200点満点に換算する（リスニング免除者はリーディング100点を200点満点に換算する）。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 情報 | ◆大学入学共通テストの情報は50点満点に換算する。 | ○ | ○ | ○ | ○ |

環境共生学部

# 実施教科・科目・配点等一覧表

| 専攻名 | 大学入学共通テスト | | | | | | 本学個別テスト等 | | | | 各配点 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 教科 | 科目名等 | | 区分 | 教科 | 配点 | 区分 | 教科等 | 科目名等 | 配点 | 試験の区分 | 配点 |
| 環境資源学専攻 | 国語 | 『国語』 | 必須 | 前期日程 | 国語 | 200 | 前期日程 | 外国語 | 英語コミュニケーション Ⅰ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ | 200 | 共通テスト | 950 |
| | 地歴公民 | 『地総,地探』『歴総,日探』『歴総,世探』『地総／歴総／公』『公,倫』『公,政・経』 | から１ | | 地歴・公民 | 100 | | 理科 | 物理基礎・物理<br>化学基礎・化学<br>生物基礎・生物 } から１ | 200 | 本学個別テスト等 | 413 |
| | 数学 | 『数Ⅰ,数A』『数Ⅰ』 | から１ | | 数学 | 100×2 | | | | | 総計 | 1363 |
| | | 『数Ⅱ,数B,数C』 | 必須 | | 理科 | 100×2 | | その他 | 調査書 | 13 | | |
| | 理科 | 『物基／化基／生基／地基』『物』『化』『生』『地学』 | から２ | | 外国語 | 200 | | | | | | |
| | 外国語 | 『英』『独』『仏』『中』『韓』 | から１ | | 情報 | 50 | | | | | | |
| | 情報 | 『情報Ⅰ』 | 必須 | 後期日程 | 国語 | 100 | 後期日程 | 理科 | 物理基礎・物理<br>化学基礎・化学<br>生物基礎・生物 } から１ | 400 | 共通テスト | 850 |
| | ［６教科８科目］ | | | | 地歴・公民 | 50 | | | | | 本学個別テスト等 | 412 |
| | | | | | 数学 | 100×2 | | | | | 総計 | 1262 |
| | | | | | 理科 | 100×2 | | | | | | |
| | | | | | 外国語 | 250 | | | | | | |
| | | | | | 情報 | 50 | | その他 | 調査書 | 12 | | |
| 居住環境学専攻 | 国語 | 『国語』 | 必須 | 前期日程／後期日程（共通） | 国語 | 200 | 前期日程 | 外国語 | 英語コミュニケーション Ⅰ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ | 200 | 共通テスト | 950 |
| | 地歴公民 | 『地総,地探』『歴総,日探』『歴総,世探』『地総／歴総／公』『公,倫』『公,政・経』 | から１ | | 地歴公民 | 100 | | 理科 | 物理基礎・物理<br>化学基礎・化学<br>生物基礎・生物 } から１ | 200 | 本学個別テスト等 | 413 |
| | 数学 | 『数Ⅰ,数A』『数Ⅰ』 | から１ | | 数学 | 100×2 | | | | | 総計 | 1363 |
| | | 『数Ⅱ,数B,数C』 | 必須 | | | | | その他 | 調査書 | 13 | | |
| | 理科 | 『物基／化基／生基／地基』『物』『化』『生』『地学』 | から２ | | 理科 | 100×2 | 後期日程 | 小論文 | 小論文 | 400 | 共通テスト | 950 |
| | 外国語 | 『英』『独』『仏』『中』『韓』 | から１ | | 外国語 | 200 | | | | | 本学個別テスト等 | 413 |
| | 情報 | 『情報Ⅰ』 | 必須 | | 情報 | 50 | | | | | 総計 | 1363 |
| | ［６教科８科目］ | | | | | | | その他 | 調査書 | 13 | | |
| 食健康環境学専攻 | 国語 | 『国語』 | 必須 | 前期日程／後期日程（共通） | 国語 | 200 | 前期日程 | 外国語 | 英語コミュニケーション Ⅰ～Ⅲ、論理・表現Ⅰ～Ⅲ | 200 | 共通テスト | 950 |
| | 地歴公民 | 『地総,地探』『歴総,日探』『歴総,世探』『地総／歴総／公』『公,倫』『公,政・経』 | から１ | | 地歴公民 | 100 | | 理科 | 物理基礎・物理<br>化学基礎・化学<br>生物基礎・生物 } から２ | 100×2 | 本学個別テスト等 | 413 |
| | 数学 | 『数Ⅰ,数A』『数Ⅰ』 | から１ | | 数学 | 100×2 | | | | | 総計 | 1363 |
| | | 『数Ⅱ,数B,数C』 | 必須 | | | | | その他 | 調査書 | 13 | | |
| | 理科 | 『物』『化』『生』『地学』 | から２ | | 理科 | 100×2 | 後期日程 | 小論文 | 小論文 | 400 | 共通テスト | 950 |
| | 外国語 | 『英』『独』『仏』『中』『韓』 | から１ | | 外国語 | 200 | | | | | 本学個別テスト等 | 413 |
| | 情報 | 『情報Ⅰ』 | 必須 | | 情報 | 50 | | | | | 総計 | 1363 |
| | ［６教科８科目］ | | | | | | | その他 | 調査書 | 13 | | |

**≪留意事項≫**

| 教科・科目・配点等の取扱い | | 該当する専攻・選抜日程 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 環境資源学専攻 | | 居住環境学専攻 | | 食健康環境学専攻 | |
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 【大学入学共通テストの利用教科・科目について】 | | | | | | | |
| 地歴公民 | ◆地歴・公民について、複数科目を受験している場合は、第１解答科目の得点を教科の得点とする。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 理科 | ◆『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択するとき、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』で選択解答する出題範囲と、もう１つの選択科目（『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から１）が同一名称を含むもの同士（「物理基礎」と『物理』、「化学基礎」と『化学』、「生物基礎」と『生物』、「地学基礎」と『地学』）の場合、失格とする。 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 外国語 | ◆外国語において『英語』を選択している場合は、リーディングとリスニングの双方を受験しなければならない。受験していない場合は失格とする（ただし、リスニング免除者を除く）。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 【大学入学共通テストの配点について】 | | | | | | | |
| 国語<br>地歴<br>公民 | ◆大学入学共通テストの国語は100点満点に、地歴・公民は50点満点に換算する。 | | ○ | | | | |
| 外国語 | ◆大学入学共通テストの外国語において『英語』は、リーディング 100点を160点満点、リスニング100点を40点満点の計200点満点に換算する(リスニング免除者はリーディング100点を200点満点に換算する)。 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ◆大学入学共通テストの外国語において『英語』は、リーディング 100点を200点満点、リスニング100点を50点満点の計250点満点に換算する(リスニング免除者はリーディング100点を250点満点に換算する)。 | | ○ | | | | |
| | ◆大学入学共通テストの外国語において『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』は、筆記200点を250点満点に換算する。 | | ○ | | | | |
| 情報 | ◆大学入学共通テストの情報は50点満点に換算する。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 【本学個別テストの出題範囲について】 | | | | | | | |
| 理科 | ◆理科の出題範囲は、次のとおりとする。<br>「物理基礎・物理」…全範囲、　「化学基礎・化学」…全範囲、　「生物基礎・生物」…全範囲 | ○ | ○ | ○ | | ○ | |

総合管理学部

# 実施教科・科目・配点等一覧表

| 学科名・区分 | 大学入学共通テスト | | | | | 本学個別テスト等 | | | | 各配点 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 区分 | 教科 | 科目名等 | | 配点 | 区分 | 教科等 | 科目名等 | 配点 | 試験の区分 | 配点 |
| 総合管理学科 A方式 | 前期日程／後期日程（共通） | 国語 | 『国語』 | 必須 | 100 | 前期日程 | 小論文 | 小論文（英文資料の読解を含む。） | 200 | 共通テスト | 450 |
| | | 地歴公民 | 『地総, 地探』『歴総, 日探』『歴総, 世探』『公, 倫』『公, 政・経』 | から１ | 50 | | | | | 本学個別テスト等 | 206 |
| | | 数学 | 『数Ⅰ, 数A』『数Ⅱ, 数B, 数C』 | から１ | 100 | | | | | 総計 | 656 |
| | | 理科 | 『物基／化基／生基／地基』『物』『化』『生』『地学』 | から１ | 50 | | その他 | 調査書 | 6 | | |
| | | 外国語 | 『英』『独』『仏』『中』『韓』 | から１ | 100 | 後期日程 | 小論文 | 小論文（英文資料の読解を含む。） | 200 | 共通テスト | 450 |
| | | 情報 | 『情報Ⅰ』 | 必須 | 50 | | | | | 本学個別テスト等 | 206 |
| | | | ［６教科６科目］ | | | | | | | 総計 | 656 |
| | | | | | | | その他 | 調査書 | 6 | | |
| 総合管理学科 B方式 | 前期日程／後期日程（共通） | 国語 | 『国語』 | から２ | 100×2 | 前期日程 | 小論文 | 小論文（英文資料の読解を含む。） | 200 | 共通テスト | 450 |
| | | 地歴公民 | 『地総, 地探』『歴総, 日探』『歴総, 世探』『公, 倫』『公, 政・経』 | から１ | | | | | | 本学個別テスト等 | 206 |
| | | 数学 | 『数Ⅰ, 数A』『数Ⅱ, 数B, 数C』 | から１ | | | | | | 総計 | 656 |
| | | 理科 | 『物』『化』『生』『地学』 | から１ | | | その他 | 調査書 | 6 | | |
| | | 外国語 | 『英』『独』『仏』『中』『韓』 | から１ | 200 | 後期日程 | 小論文 | 小論文（英文資料の読解を含む。） | 200 | 共通テスト | 450 |
| | | 情報 | 『情報Ⅰ』 | 必須 | 50 | | | | | 本学個別テスト等 | 206 |
| | | | ［４教科４科目］ | | | | | | | 総計 | 656 |
| | | | | | | | その他 | 調査書 | 6 | | |

**≪留意事項≫**

| 教科・科目・配点等の取扱い | | 該当する区分・選抜日程 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 総合管理学科Ａ方式 | | 総合管理学科Ｂ方式 | |
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 【大学入学共通テストの利用教科・科目について】 | | | | | |
| 地歴公民 | ◆地歴・公民について、複数科目を受験している場合は、第１解答科目の得点を教科の得点とする。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ●ただし、『地理総合／歴史総合／公共』を第１解答科目とした場合は失格とする。 | ○ | ○ | | |
| | ●ただし、『地理総合／歴史総合／公共』を第１解答科目とした場合は地歴・公民を選択科目とすることはできない。 | | | ○ | ○ |
| 数学 | ◆数学について、複数科目を受験している場合は、高得点の科目を選択科目とする。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 理科 | ◆理科について、複数科目を受験している場合は、第１解答科目の得点を教科の得点とする。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ●ただし、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を第１解答科目とした場合は理科を選択科目とすることはできない。 | | | ○ | ○ |
| 選択教科 | ◆国語、地歴・公民、数学、理科のうち３教科以上受験している場合、高得点の２教科の科目を選択科目とする。 | | | ○ | ○ |
| 外国語 | ◆外国語において『英語』を選択している場合は、リーディングとリスニングの双方を受験しなければならない。受験していない場合は失格とする（ただし、リスニング免除者を除く）。 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 【大学入学共通テストの配点について】 | | | | | |
| 国語 地歴公民 理科 | ◆大学入学共通テストの国語は100点満点に、地歴・公民及び理科は50点満点に換算する。 | ○ | ○ | | |
| 国語 | ◆大学入学共通テストの国語は100点満点に換算する。 | | | ○ | ○ |
| 外国語 | ◆大学入学共通テストの外国語において『英語』は、リーディング 100点を160点満点、リスニング100点を40点満点の計200点満点に換算する（リスニング免除者はリーディング100点を200点満点に換算する）。 | | | ○ | ○ |
| | ◆大学入学共通テストの外国語において『英語』は、リーディング 100点を80点満点、リスニング100点を20点満点の計100点満点に換算する（リスニング免除者はリーディング100点満点の得点で評価する）。 | ○ | ○ | | |
| | ◆大学入学共通テストの外国語において『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』は、筆記200点を100点満点に換算する。 | ○ | ○ | | |
| 情報 | ◆大学入学共通テストの情報は50点満点に換算する。 | ○ | ○ | ○ | ○ |

半導体学部

# 実施教科・科目・配点等一覧表

| 学科名 | 大学入学共通テスト | | | | | 本学個別テスト等 | | | | 各配点 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 区分 | 教科 | 科目名等 | | 配点 | 区分 | 教科等 | 科目名等 | 配点 | 試験の区分 | 配点 |
| 半導体学科 | 前期日程／後期日程（共通） | 国語 | 『国語』 | 必須 | 100 | 前期日程 | 数学 | 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C | 200 | 共通テスト | 700 |
| | | 地歴公民 | 『地総, 地探』『歴総, 日探』『歴総, 世探』<br>『地総／歴総／公』<br>『公, 倫』『公, 政・経』 | から１ | 50 | | 理科 | 物理基礎・物理<br>化学基礎・化学 } から１ | 200 | 本学個別テスト等 | 411 |
| | | 数学 | 『数Ⅰ, 数A』 | 必須 | 100×2 | | | | | 総計 | 1111 |
| | | | 『数Ⅱ, 数B, 数C』 | 必須 | | | その他 | 調査書 | 11 | | |
| | | 理科 | 『物』『化』『生』『地学』 | から２ | 100×2 | 後期日程 | 小論文 | 小論文 | 400 | 共通テスト | 700 |
| | | 外国語 | 『英』『独』『仏』『中』『韓』 | から１ | 100 | | | | | 本学個別テスト等 | 411 |
| | | 情報 | 『情報Ⅰ』 | 必須 | 50 | | | | | 総計 | 1111 |
| | | | ［６教科８科目］ | | | | その他 | 調査書 | 11 | | |

**≪留意事項≫**

| 教科・科目・配点等の取扱い | | 該当する学科・選抜日程 | |
|---|---|---|---|
| | | 半導体学科 | |
| | | 前期 | 後期 |
| 【大学入学共通テストの利用教科・科目について】 | | | |
| 地歴公民 | ◆地歴・公民について、複数科目を受験している場合は、第１解答科目の得点を教科の得点とする。 | ○ | ○ |
| 外国語 | ◆外国語において『英語』を選択している場合は、リーディングとリスニングの双方を受験しなければならない。受験していない場合は失格とする（ただし、リスニング免除者を除く）。 | ○ | ○ |
| 【大学入学共通テストの配点について】 | | | |
| 国語<br>地歴<br>公民 | ◆大学入学共通テストの国語は100点満点に、地歴・公民は50点満点に換算する。 | ○ | ○ |
| 外国語 | ◆大学入学共通テストの外国語において『英語』は、リーディング 100点を80点満点、リスニング100点を20点満点の計100点満点に換算する（リスニング免除者はリーディング100点満点の得点で評価する）。 | ○ | ○ |
| | ◆大学入学共通テストの外国語において『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』は、筆記200点を100点満点に換算する。 | ○ | ○ |
| 情報 | ◆大学入学共通テストの情報は50点満点に換算する。 | ○ | ○ |
| 【本学個別テストの出題範囲について】 | | | |
| 数学 | ◆数学の出題範囲は、次のとおりとする。<br>数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A…全範囲、　数学B…数列、<br>数学C…ベクトル及び平面上の曲線と複素数平面 | ○ | |
| 理科 | ◆理科の出題範囲は、次のとおりとする。<br>「物理基礎・物理」…全範囲、　「化学基礎・化学」…全範囲 | ○ | |

# 大学施設配置図




試験日（2月25日、3月12日）は、学内の車両の進路を反時計回りの一方通行とします。

当日の車両の進路
（南駐車場以外での降車不可）



熊本県立大学

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号
TEL.096-321-6610（教務入試課入試班直通）
FAX.096-383-2364
https://www.pu-kumamoto.ac.jp
E-mail:nyusi@pu-kumamoto.ac.jp